

つなげようつながろう ふたばのわ

創刊号

平成 25 年 11 月 15 日発行

発行

双葉町秘書広報課

☎ 0246-84-5202

企画・編集

ふたさば（双葉町復興支援員）

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるための情報紙です。

自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。

「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。

双葉町成人式 第二回実行委員会

9月28日(土)にホテルハマツ(郡山市)にて「双葉町成人式第1回実行委員会」が行われました。

宮城・埼玉・千葉から新成人4人が集まり1月に行われる成人式に向けての準備がスタートしました。今後は月1回程度の実行委員会を重ねていきます。今回は、実行委員の4人にお話を聞かせていただきました。若さあふれるその姿に明るい未来を感じました。

みんなと話がしたい

西崎さん
仲間や友達と会うのは本当に久しぶりで、正直少し不安もありますが、中学校の時のように話をして成人式を楽しめたらいいなと思います。

白玉さん
双葉にいた頃の写真と今の写真をスライドショーにして当時の思い出を語ったり、将来の夢に向かって頑張ったりしている姿を紹介できたら、参加者全員が楽しめる成人式になるのかなと思っています。

渡部さん
とにかくみんなといろんな話をしたいです。みんなとは久しぶりに会うので、楽しくわいわいできたらいいかなと思っています。



つながりの大切さを実感

高木さん
震災の時は一人でしたので、怖い思いもしました。避難所での生活が長く続き、知っている人も少なかったのだから孤独感がありました。

渡部さん
私は当時、いわき市の高校に通っていました。これから部活が始まるという時に地震があり、家に帰れず、とても不安だったのを覚えています。

白玉さん
避難生活を通じて、人とつながっていることがいかに安心するか、どれだけ大事かを実感しました。これからは友達とのつながりを大事にしなから、また新しい土地でたくさんの人と関わりたいと思っています。

高木さん
そついった意味でも、できるなら双葉町に戻ってみんなと一緒にお祭りなどをしたいですね。

西崎さん
できれば、たくさんの人たちに双葉に帰ってきてもらい、町の機能が元通りになればうれしいです。現在大学で教育課程を学んでいるので、教師として双葉町の学校に赴任したいですね。

標葉せんだん太鼓保存会のみなさん



故郷に響いた太鼓の音

14年ぶりに開催!!

ふたばワールド 2013

～一緒に創ろう…ふたばの明日!!～



夢ふたば人のみなさん



Check

今日の演奏は双葉町公式 YouTube チャンネルでも動画配信しています
<http://www.youtube.com/user/futabakoho>



副会長
今泉春雄さん

標葉せんだん太鼓保存会 HP
<http://sendantaiko.sakura.ne.jp/>

双葉町の音が後世まで伝わっていくことを願っています。

施したいとも考えています。

残しておかなくてははいけないと思っ

双葉の音を残したい

感無量です。

演奏を終えて

この2年7カ月、ずっと活動

は続けてきましたが、今日はそ

の中で、故郷に一番近いところ

で演奏できました。それだけで

われわれメンバーもだいたい

10歳。いすれいなくなってしまう

しかし、双葉の音はしっかりと

残しておかなくてははいけないと

思っています。

せんだん太鼓は双葉町の顔と

いえるまでに成長していました。

その素晴らしい音を若者や子ど

もたちの手で継承して欲しい。

しい。そのために太鼓奏者育成

のワークショップを継続的に実

施したいとも考えています。

親しく話し合い、
いたわり合い、
支え合い、
そして助け合う



いわき・まごころ双葉会

いわき・まごころ双葉会とは

いわき・まごころ双葉会はいわき市の借上げ住宅に在住の双葉町民のために、平成25年1月から活動を開始されました。

岡田常雄会長、木幡智清副会長、岩川ヨシ子副会長、大橋庸一事務局長を中心に、現在は100世帯170人ほどの会員数となっています。

長く続く避難生活により、孤独感・孤立感が強まっている中で、一人一人がつながり共助していくことが必要だと考え、自治会設立に至りました。

みなが集まる交流の場

月一回の定例役員会を開催し、役員間での情報交換やイベ

ントの企画を行っています。

これまで5回の定例総会を開催し、3月には漫談講演会、4月にはお花見、5月には防犯セミナー・オカリナ演奏会、8月には平七夕まつりへの出店10月には会津バスツアーを実施されてきました。

またいわき市を複数地区に分けて、直接会員宅を訪問しながら、情報伝達や会員の現状を伺う取り組みを実施しています。

みなが集まる交流の場

2カ月に一度の定例総会ではいわき市で活動している方や団体との交流の場を持つなど、地域に溶け込んだ取り組みを積極的に行っています。

5月に実施された定例総会で

は、いわき市中央警察署の協力のもと、防犯・交通安全セミナーを開催、8月の平七夕まつりでは、作品を出展し、特別賞を受賞されています。

10月15日には自治会会員と、いわき南台仮設、会津城前仮設で避難生活を送っている町民の方々との交流を兼ねた日帰りバスツアーが開催され、総勢75人の方が参加されました。警梯吾妻スカイラインの紅葉や鶴ヶ城見学を通じて交流を深めました。久しぶりの再会を抱き合っ

た。12月にもお楽しみみの時間を含め識者による講演や女性コーラスの鑑賞などを企画しており、現在準備を進めていらいっしやいます。

このように、定例総会を通して町民同士や地域との交流を積極的にを行っています。

主な取組一覧

1. 定例役員会

毎月第1土曜日の定例役員会で、イベントなどの企画について話し合います。

2. 定例総会

2カ月に1回の頻度で定例総会を開催。12月にもみなさんが楽しめる会を計画中です。

3. 見回りと情報提供

いわき市を複数地区に分けて担当が見回りと情報提供を行っています。

→ 鶴ヶ城天守閣前での写真



顔を合わせることが大切

定例総会とは別に、会員の方を一軒一軒訪問する特徴的な取り組みがあります。

いわき市を複数地区に分け、地区担当者を配置し、その担当者が会員宅を訪問しています。

訪問の際には会員の方の健康状態の確認や生活の中で困っていることなど、話を聞いて回ります。手紙などで、情報を一方的に伝えるのではなく、直接顔をみて話をすることを大切にしています。

今後この取り組みに名前をつけて、会員のみなさんや町民のみなさんに、活動をもっと知ってほしいと考えています。

みなさんからの感謝の声

自治会設立以前は、どこにどのような方がいて、何をしているのかが分からない状況でした。「いわき・まごころ双葉会」がイベント実施をしてくれることで、集まれる機会ができた。こういった機会がないと会うことさえない。」

会員の方からはこのような声が多く聞かれます。

長く続く避難生活を少しでも安らぎあるものにとしたいと、役員の方々がまも奮闘されています。

いわき・まごころ双葉会

【設立】

平成 25 年 1 月

【役員数】

16 名

【会費】

年額 2,000 円



岡田 常雄 会長

編集後記

「ふたばのわ」創刊号、みなさんお楽しみいただけただけでしょうか。町民のみなさんの各地での活動を紹介することで、双葉町のつながりを深め、より多くの方がコミュニティに参加していただくきっかけになればと願っています。

本紙企画・編集を担当します、私たちふたさぼ（双葉町復興支援員）は、町民と町役場との間に立ち、コミュニケーションの円滑化を目指すと共に、町民同士の交流の場を創り出すための活動をしています。

全国各地で避難生活を送っている町民のみなさんに、たくさんの笑顔をお届けし、みなさんが少しでも明るい気持ちになっていただければうれしいです。



「ふたばのわ」に参加しませんか？

「ふたばのわ」では「後世に残したい双葉町」をテーマに、みなさんから写真を募集しています。



(写真例)

お名前・出身行政区を記載の上、下記のメールアドレスまでご送付ください。

info@futabamachi-s.com

ご応募お待ち
しています!!



インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ



双葉町では、インターネットのサービスであるフェイスブックページを開設しています。

各地での交流イベントの写真や動画などを掲載しています。町民のみなさんの活躍をご覧いただき、ページにも「いいね!」をしてコミュニケーションの輪を広げてみませんか。



双葉町 Facebook

www.facebook.com/fukushima.futaba